	事業所名	アトリエあいた	ぎっく					支援プロ	コグラム	」(参考様式)	作成日	2025 年	3 月	18 日
	法人(事業所)理念	笑顔・感動・オ	未来を描	き、新し	い文化を	創出する								
	支援方針	「やってみたい ~子どもたちの							可能性を	広げる。				
	営業時間		11	時	30	分から	17 時	40	分まで	送迎実施の有無	あり なし			
										支 援 内 容	_			
	健康・生活	将来の自立につまた、おやつ等さらに、活動前	通じて整 つながる 手の食事 前後での	理整頓の 力を育て の時間で 身支度や	習慣や時 ます。 は、手洗 水分補給	間の感覚 いや食事 は、体調確	を身に着け、 マナーなどの 認を通して、	適切な物 D習慣を身 自分の状	の扱い方 につけら 態を意識	や持ち物の管理、時間管理 れるよう促します。 し、調整・管理しながら過			の活動へスムー	ズに移れる力や
	運動・感覚	様々な素材や道 また、筆圧の強 さらに、異なる	作活動を楽しみつつ、指先の動きや目と手の協調性を高め、力加減やさまざまな感覚を学び、姿勢や体の使い方を身につけられるよう支援します。 やな素材や道具を扱うことで、指先の細かな動きや協調性を養う機会を作ります。 た、筆圧の強弱や道具の扱いを学ぶことで、力加減や動作のコントロールを身につけられるよう支援します。 らに、異なる質感を楽しみながら感覚を豊かにし、触覚や圧覚の発達を促します。 位での作業が多くなるため、長時間の活動でも疲れにくいよう姿勢をサポートするとともに、適度に体を動かす機会を設け、無理なく創作活動を続けられるよう配慮します。											
本人支援		道具の使い方を また、空間認知 作業を通じて刑	創作活動を通じて、視覚的な情報を捉える力や細部への注意力の向上から表現力や思考力を養い、また、行動の切り替えをスムーズにする力を育みます。 道具の使い方を工夫したり、作品の完成までの流れを考えたりすることで、計画的に取り組む力や試行錯誤しながら作業を進める力を育みます。 また、空間認知や視空間認知を高め、見たものを理解して再現する力や、自分の考えを形にする力を養います。 作業を通じて形や配置を捉える力や細部への注意が育まれ、手と目の協調が身に付き、表現力や思考力が高まることで、自ら考え進める力も養われ、発想や表現の幅を広げます。 さらに、活動終了やおやつ、帰り支度などの切り替えのタイミングを意識することで、次の行動にスムーズに移れるよう促します。											
	言語コミュニケーション	自分の作品にてまた、創作活動 簡単なやり取り	スタッフや友達との会話を楽しみながら、言葉のやり取りが自然と増えるよう支援します。 自分の作品について説明したり、作業の中で意思疎通をはかったりすることで、言葉で表現する力を育みます。 また、創作活動を通じて、自分の感じたことを、さまざまな方法で伝えたり表現したりする機会を大切にします。 簡単なやり取りや、好きなものを伝える経験を重ねながら、少しずつ表現の幅を広げていきます。 楽しくコミュニケーションをとりながら、自分の気持ちを伝えたり、相手の話を理解する力を伸ばしていきます。											
創作活動を通して、友達と関わる機会を大切にし、協力しながら進めたり、関わりの中で相手の存在を意識したりする経験を積んでいきます。 周囲の様子を感じたり、スタッフと一緒に作業をしたりすることで、人との関わりを無理なく広げていけるよう支援します。 また、他の児童の創作の様子を見たり、刺激を受けたりしながら、自分なりの表現を広げていく機会も大切にします。 社会性 トラブルが起こった際には、一緒に考えながら解決できるようサポートし、相手の気持ちを理解しながら円滑な関係を築く力を育てます。 楽しみながら、自然と社会性を身につけられるよう支援していきます。														
	家族支援	家庭と連携し、 づくりを支援し も情報提供や相	Jます。i	面談はも	ちろん、	送迎時や	メール等も流	舌用し、日	常的に	移行支援	進学や転校などの変化ながら、新しい生活! 団での過ごし方を意識	Jズムやルールに慣れ 戦し、安心して移行 <sup>-</sup>	れる力を育みます	す。時間管理や集
	地域支援・地域連携	イベント等を通	 通して適	<del></del> 宜行って	いきます	0				職員の質の向上	・定期的な社内・外荷 ・日々のミーティング ・OJT研修		等を行っ	っています。
	主な行事等	季節行事(七夕	タ、ハロ	ウィン、	クリスマ	?ス等)、長	長期休暇時特	別イベント	、(お出た	いけ、調理、祭り等)、展示	·····································			

											,				
	事業所名	アトリエあいが	だっく新中野		支	援プログラム	<b>、</b> (参考様式)	作成日	2025 年	3 月	18 日				
	法人(事業所)理念	笑顔・感動・え	未来を描き、新し	い文化を創出する	3										
	支援方針	「やってみたい ~子どもたちの	ハ!」を大切に。 の「苦手」を「で	多彩なプログラ <i>I</i> きる」に、「でき	ムを通して子ども きる」を「得意」	たちの可能性を に〜	広げる。								
	営業時間		11 時	<mark>30</mark> 分から	17 時	<mark>40</mark> 分まで	送迎実施の有無	あり なし							
							支 援 内 容								
	健康・生活	日課や活動を通将来の自立にでまた、おやつ等	つながる力を育て 等の食事の時間で	します。 や持ち物の管理、時間管理やE れるよう促します。 し、調整・管理しながら過ごt		るよう支援し、次の	の活動へスムース	ぐに移れる力や							
	運動・感覚	様々な素材や過また、筆圧の引きらに、異なる	制作活動を楽しみつつ、指先の動きや目と手の協調性を高め、力加減やさまざまな感覚を学び、姿勢や体の使い方を身につけられるよう支援します。 様々な素材や道具を扱うことで、指先の細かな動きや協調性を養う機会を作ります。 また、筆圧の強弱や道具の扱いを学ぶことで、力加減や動作のコントロールを身につけられるよう支援します。 さらに、異なる質感を楽しみながら感覚を豊かにし、触覚や圧覚の発達を促します。 座位での作業が多くなるため、長時間の活動でも疲れにくいよう姿勢をサポートするとともに、適度に体を動かす機会を設け、無理なく創作活動を続けられるよう配慮します。												
本人支援	認知・行動	創作活動を通じて、視覚的な情報を捉える力や細部への注意力の向上から表現力や思考力を養い、また、行動の切り替えをスムーズにする力を育みます。 道具の使い方を工夫したり、作品の完成までの流れを考えたりすることで、計画的に取り組む力や試行錯誤しながら作業を進める力を育みます。 また、空間認知や視空間認知を高め、見たものを理解して再現する力や、自分の考えを形にする力を養います。 作業を通じて形や配置を捉える力や細部への注意が育まれ、手と目の協調が身に付き、表現力や思考力が高まることで、自ら考え進める力も養われ、発想や表現の幅を広げます。 さらに、活動終了やおやつ、帰り支度などの切り替えのタイミングを意識することで、次の行動にスムーズに移れるよう促します。													
	言語コミュニケーション	自分の作品にで また、創作活動 簡単なやり取り	スタッフや友達との会話を楽しみながら、言葉のやり取りが自然と増えるよう支援します。 自分の作品について説明したり、作業の中で意思疎通をはかったりすることで、言葉で表現する力を育みます。 また、創作活動を通じて、自分の感じたことを、さまざまな方法で伝えたり表現したりする機会を大切にします。 簡単なやり取りや、好きなものを伝える経験を重ねながら、少しずつ表現の幅を広げていきます。 楽しくコミュニケーションをとりながら、自分の気持ちを伝えたり、相手の話を理解する力を伸ばしていきます。												
	創作活動を通して、友達と関わる機会を大切にし、協力しながら進めたり、関わりの中で相手の存在を意識したりする経験を積んでいきます。 周囲の様子を感じたり、スタッフと一緒に作業をしたりすることで、人との関わりを無理なく広げていけるよう支援します。 また、他の児童の創作の様子を見たり、刺激を受けたりしながら、自分なりの表現を広げていく機会も大切にします。 十ラブルが起こった際には、一緒に考えながら解決できるようサポートし、相手の気持ちを理解しながら円滑な関係を築く力を育てます。 楽しみながら、自然と社会性を身につけられるよう支援していきます。														
	家族支援	づくりを支援し	Jます。面談はも	生活の変化に寄り ちろん、送迎時や 家庭での関わりや	やメール等も活用	し、日常的に	移行支援	進学や転校などの変化にながら、新しい生活リス 団での過ごし方を意識し	ズムやルールに慣れ レ、安心して移行て	いる力を育みます	「。時間管理や集				
	地域支援・地域連携	イベント等を追	通して適宜行って	いきます。			職員の質の向上	・定期的な社内・外研( ・日々のミーティング( ・0JT研修		———— 等を行っ <sup>-</sup>	ています。				
主な行事等 季節行事(七夕、ハロウィン、クリスマス等)、長期休暇時特別イベント(お出かけ、調理、祭り等)、展示会、卒業式 等															

事業所名 スタジオあいだっく 支援プログラム(参考様式) 作成日 2025 年 3月 18 日 法人(事業所)理念 笑顔・感動・未来を描き、新しい文化を創出する 「やってみたい!」を大切に。多彩なプログラムを通して子どもたちの可能性を広げる。 支援方針 ~子どもたちの「苦手」を「できる」に、「できる」を「得意」に~ 営業時間 11 時 30 分から 17 時 40 分まで 送迎実施の有無 あり なし 支 援 内 容 日々の活動や生活の流れを大切にしながら、生活リズムを整えられるように支援します。 日課や活動を通じて整理整頓の習慣や時間の感覚を身に着け、適切な物の扱い方や持ち物の管理、時間管理や自分のペース把握等ができるよう支援し、次の活動へスムーズに移れる力や 将来の自立につながる力を育てます。 健康・生活 |また、おやつ等の食事の時間では、手洗いや食事マナーなどの習慣を身につけられるよう促します。 |さらに、活動前後での身支度や水分補給、体調確認を通して、自分の状態を意識し、調整・管理しながら過ごせるよう支援します。 音楽活動を楽しみながら、身体の動きやリズム感を養い、全身の協調性や感覚の発達を支援します。 ダンスを通じて、リズムに乗って体を動かしながらバランス感覚や重心のコントロールを養い、全身の協調的な動作を身につけられるよう支援します。 また、歌唱では口や舌の動き、呼吸のコントロールを意識しながら発声することで、口腔機能の発達や表現力の向上を促します。 運動・感覚 楽器演奏では、指先の動きや目と手の協調性を高める機会を提供し、楽器ごとの力加減や奏法を学ぶことで動作のコントロールを養います。 さらに、異なる音や振動を感じながら楽しむことで、聴覚や触覚の発達を促し、音楽を通じて感覚を豊かにします。 音楽活動を通じて、リズムや音の変化を捉える力や注意力の向上から表現力や思考力を養い、また、行動の切り替えをスムーズにする力を育みます。 リズムに合わせて体を動かしたり、音の変化を感じ取ったりすることで、注意力や集中力を養い、聞いたものを理解して表現する力を高めます。 人支 また、歌詞やフレーズを覚えて歌ったり、楽器を鳴らしたりすることで、記憶力やリズム感、手指の協調性を育みます。 認知・行動 楽器演奏の順番を考えたり、振りや動きを合わせたりすることで計画的に取り組む力を養い、音楽に合わせて動くことで音に注意を向ける力や表現をコントロールする力が高まります。 そして、活動終了やおやつ、帰り支度などの切り替えのタイミングを意識することで、次の行動にスムーズに移れるよう促します。 スタッフや友達との会話を楽しみながら、言葉のやり取りが自然と増えるようにします。 リズムに乗って体を動かしたり、一緒に歌ったり演奏したりする中で、楽しみながら言葉を交わし、表現する力を育みます。 |また、音楽活動を通じて、自分の感じたことを、音や動きにのせて伝えたり、表現したりする機会を大切にします。 コミュニケーション 簡単なやり取りや、好きな音楽を共有する経験を重ねながら、少しずつ表現の幅を広げていきます。 |楽しくコミュニケーションをとりながら、自分の気持ちを伝えたり、相手の話を理解する力を伸ばしていきます。 音楽活動を通して、友達と関わる機会を大切にし、協力しながら進めたり、かかわりの中で相手の存在を意識したりする経験を積んでいきます。 |周囲の様子を感じたり、スタッフと一緒に取り組んだりすることで、人との関わりを無理なく広げられるよう支援します。 人間関係 また、他の児童の演奏や動きを感じ取りながら、タイミングやリズムを共有したり、一緒に表現を作り上げる機会を通じて、周囲との関わりの中で調整しながら表現する力を育みます。 社会性 トラブルが起こった際には、一緒に考えながら解決できるようサポートし、相手の気持ちを理解する機会につなげていきます。 また、発表会を目標に取り組むことで、意欲を高めながら練習を重ね、披露する経験を通じて自信や達成感を得る機会にもつなげていきます。 家庭と連携し、子どもの成長や生活の変化に寄り添い、安心して過ごせる環境 進学や転校などの変化に適応できるよう、必要に応じて関係機関と連携し ながら、新しい生活リズムやルールに慣れる力を育みます。時間管理や集 家族支援 づくりを支援します。面談はもちろん、送迎時やメール等も活用し、日常的に 移行支援 も情報提供や相談対応を行い、家庭での関わりや育ちをサポートします。 団での過ごし方を意識し、安心して移行できるよう支援します。 ・定期的な社内・外研修 ・日々のミーティング(PDCAサイクル) 地域支援・地域連携 職員の質の向上 |イベント等を通して適宜行っていきます。 ·0JT研修 等を行っています。

|季節行事(七夕、ハロウィン、クリスマス等)、長期休暇時特別イベント(お出かけ、調理、祭り等)、あいだっくフェス(発表会)、卒業式 等

	事業所名	パソコンあいた	ぎっく		3	を援プログラム	<b>ム</b> (参考様式)	作成日	2025 年	3 月	18日			
	法人(事業所)理念	笑顔・感動・未	未来を描き、新し	い文化を創出する	3									
	支援方針	「やってみたい 〜子どもたちの	ハ!」を大切に。 D 「苦手」を「て	多彩なプログラ <i>L</i> ごきる」に、「でき	ムを通して子ども きる」を「得意」	もたちの可能性を に〜	広げる。							
	営業時間		11 時	30 分から	17 時	40 分まで	送迎実施の有無	あり なし						
							支 援 内 容							
日々の活動や生活の流れを大切にしながら、生活リズムを整えられるように支援します。 日課や活動を通じて整理整頓の習慣や時間の感覚を身に着け、適切な物の扱い方や持ち物の管理、時間管理や自分のペース把握等ができるよう 将来の自立につながる力を育てます。 また、おやつ等の食事の時間では、手洗いや食事マナーなどの習慣を身につけられるよう促します。 さらに、活動前後での身支度や水分補給、体調確認を通して、自分の状態を意識し、調整・管理しながら過ごせるよう支援します。										ー の活動へスムース	ぐに移れる力や			
	運動・感覚	タイピングでは 自由時間では、 のバランス感覚	味にあわせたさまざまな活動を通して、姿勢の維持や体の使い方、目と手の協調性、感覚の発達を支援します。 イピングでは、正しい指使いやキーを打つリズム・ペースの調整等を意識することで、目と手の協調性を高め、動作のコントロールや集中力の向上を促します。 由時間では、創作活動等を通じて触覚を豊かにし、お友達とのゲーム等での遊びを通して戦略的思考や視線の動かし方による認知機能や空間認識力を高め、外出等の機会では、歩行時 バランス感覚や全身の使い方、環境への適応力等を育てます。 位での作業が多くなる際には、長時間の活動でも疲れにくいよう姿勢をサポートし、適度に体を動かす機会を設け、無理なく創作活動を続けられるよう配慮します。											
本人支援	認知・行動	指使いや文字のポイント制度を自由活動時間で 力を高め、外出	活動を通じて、視覚的な情報を捉える力や細部への注意力の向上から表現力や思考力を養い、また、行動の切り替えをスムーズにする力を育みます。 指使いや文字の配置や指使いを意識しながら指を動かすことで、計画的に取り組む力を育み、手と目の協調も促され、集中力や作業のスピードの向上にも繋がります。 ポイント制度を取り入れることで活動への意欲を高めながら見通しを持って行動する力や自己管理の力も養います。 自由活動時間では、創作活動を通じて自分の考えを形にする力や工夫しながら取り組む力を養い、お友達とのゲーム等での交流を通じてルールを理解しながら判断する力や他者と関わる 力を高め、外出では周囲の状況を把握しながら行動する力や計画的に動く力を育みます。 そして、活動終了やおやつ、帰り支度などの切り替えのタイミングを意識することで、次の行動にスムーズに移れるよう促します。											
	言語コミュニケーション	タイピング活動 興味のあるテー を持つことで順	スタッフや友達との会話を楽しみながら、言葉のやり取りが自然と増えるよう支援します。 タイピング活動では、文字を打つことで自分の考えや感じたことを伝える経験を重ねて、表現力を伸ばし、コミュニケーションの選択肢を広げていきます。 興味のあるテーマや創作の活動では、作品や活動内容について話す機会を設ける等の工夫で伝える力を養い、お友達とのゲーム等での交流時には、ルールを理解しながら言葉を使う機会 を持つことで順番や相手の意図を考える力を育み、外出時には、新しい場所や体験を通して言葉の理解や表現の幅を広げる機会を大切にします。 楽しくコミュニケーションをとりながら、自分の気持ちを伝えたり、相手の話を理解する力を伸ばしていきます。											
お友達と遊ぶ中で、順番を守ることや相手の考えを尊重することを学び、良好な関係を築く力を養います。 興味のあるテーマや創作活動に取り組む際には、仲間とアイデアを共有したり、他者の意見や表現に触れることで、視野を広げる機会をつくります。 人間関係 外出時には、公共のルールやマナーを学ぶ機会を設け、社会的なスキルを身につけることを支援します。 トラブルが起こった際には、一緒に考えながら解決策を見つけることで、相手の気持ちを理解しながら関係を築く力を養います。 さまざまな経験を通して、自然と社会性を身につけられるよう支援していきます。														
	家族支援	づくりを支援し	Jます。面談はも	・生活の変化に寄り ちろん、送迎時や 家庭での関わりや	やメール等も活用	用し、日常的に	移行支援	進学や転校などの変化ながら、新しい生活し 団での過ごし方を意識	ズムやルールに慣れ し、安心して移行で	ιる力を育みます	。時間管理や集			
	地域支援・地域連携	イベント等を通	通して適宜行って	いきます。		職員の質の向上			修 (PDCAサイクル)	等を行って	ています。			
	主な行事等	季節行事(七夕	タ、ハロウィン、	クリスマス等)、	長期休暇時特別	イベント(お出か	Nけ、調理、祭り等)、卒業	業式 等						

	事業所名	サッカーあいた	ごっく		3	を援プログラ	5ム(参考様式)	作成曰	2025 年	3 月	18日				
	法人(事業所)理念	笑顔・感動・オ	未来を描き、新し	い文化を創出する	3										
	支援方針			多彩なプログラ <i>I</i> きる」に、「でき			を広げる。								
	営業時間		11 時	30 分から	1 <mark>7</mark> 時	40 分ま <sup>・</sup>	送迎実施の有無	あり なし							
							支 援 内 容								
	健康・生活	日々の活動や生活の流れを大切にしながら、生活リズムを整えられるように支援します。 日課や活動を通じて整理整頓の習慣や時間の感覚を身に着け、適切な物の扱い方や持ち物の管理、時間管理や自分のペース把握等ができるよう支援し、次の活動へスムーズに将来の自立につながる力を育てます。 また、おやつ等の食事の時間では、手洗いや食事マナーなどの習慣を身につけられるよう促します。 さらに、活動前後での身支度や水分補給、体調確認を通して、自分の状態を意識し、調整・管理しながら過ごせるよう支援します。													
	運動・感覚	様々な動きや川 また、蹴る力の さらに、異なる	軍動活動を楽しみつつ、全身の使い方やバランス感覚を高め、力の調整やさまざまな動きを学び、俊敏性や持久力を養えるよう支援します。 策々な動きやルールのある運動を行うことで、反応速度や空間認識力を育む機会を作ります。 また、蹴る力の調整や正しいフォームを学ぶことで、力加減や動作のコントロールを身につけられるよう支援します。 さらに、異なる動きを体験することで感覚を豊かにし、バランス感覚やリズム感の発達を促します。 量外ではのびのびと体を動かす機会を大切にし、室内ではゲームやレクリエーションを交えて楽しみながら運動に取り組み、運動習慣の定着や自信につながるよう配慮します。												
本人支援		ルールや状況にまた、空間認知 プレーを通じて	運動活動を通じて、身体の動きを調整する力や状況を素早く判断する力を高め、協調性や思考力を養い、また、行動の切り替えをスムーズにする力を育みます。 ルールや状況に応じて動きを調整し、適切なタイミングでプレーを選択することで、計画的に行動する力や試行錯誤しながら適応する力を育みます。 また、空間認知や視野の広さを高め、周囲の動きを素早く把握しながら的確に判断する力や、チームで連携して動く力を養います。 プレーを通じて動きのバランスやタイミングを調整する力や集中力が育まれ、身体と意識の協調が向上することで、自ら考え行動する力も養われ、協調性や対応力の幅が広がります。 さらに、活動終了やおやつ、帰り支度などの切り替えのタイミングを意識することで、次の行動にスムーズに移れるよう促します。												
	言語コミュニケーション	サッカーの活動を通じて、仲間とのやり取りを大切にし、自然とコミュニケーションが生まれるよう支援します。 パスやプレーの指示を言葉で伝えたり、試合後に感想を話したりすることで、自分の考えや思いを言葉で表現する機会を増やします。 活動の中で簡単な合図や声掛けを活用し、相手と意思疎通を図る力を育てます。 また、スタッフや仲間とのやり取りを通して、適切な言葉遣いや状況に応じた話し方を学ぶ機会を提供します。 試合イベントの際には、試合の振り返りや保護者へ伝える場面等も大切にし、自分のプレーや感じたことを言葉にする経験を積めるよう支援します。													
	チームでの活動を通して、協力することの大切さや、相手を尊重する姿勢を学べるよう支援します。 試合形式の遊びでは、順番を守ったり、相手の良いプレーを認めたりする経験を重ねることで、ポジティブな関わりを増やしていきます。 また、勝敗に一喜一憂しながらも、気持ちを切り替えたり、相手を称えたりする姿勢を育てることを大切にします。 社会性 試合イベントは、仲間と協力しながら挑戦する機会となり、プレーを通じて達成感を味わうとともに、試合後には互いの健闘を称え合う経験を大切にします。 トラブルが起こった際には、スタッフが間に入りながら一緒に考え、適切な対応ができるようサポートします。														
	家族支援	づくりを支援し	Jます。 面談はも	生活の変化に寄り ちろん、送迎時や 家庭での関わりや	ウメール等も活用	用し、日常的に	移行支援	進学や転校などの変化 ながら、新しい生活し 団での過ごし方を意識	ズムやルールに慣れ し、安心して移行で	いる力を育みます	す。時間管理や集				
	地域支援・地域連携	イベント等を通	通して適宜行って	 いきます。		・定期的な社内・外研 ・日々のミーティンク ・0JT研修		等を行っ	ています。						
	主な行事等	季節行事(七夕			長期休暇時特別	イベント(お	出かけ、調理、祭り等)、詞	式合(東京vs川崎等)、卒業式	<del></del> 等						

等を行っています。

・日々のミーティング(PDCAサイクル)

OIT研修

事業所名 支援プログラム(参考様式) 作成日 渋谷あいだっく 2025 年 3月 18 日 法人(事業所)理念 笑顔・感動・未来を描き、新しい文化を創出する 「やってみたい!」を大切に。多彩なプログラムを通して子どもたちの可能性を広げる。 支援方針 ~子どもたちの「苦手」を「できる」に、「できる」を「得意」に~ 営業時間 11 時 30 分から 17 時 送迎実施の有無 あり なし 40 分まで 支 援 内 容 日々の活動や生活の流れを大切にしながら、生活リズムを整えられるように支援します。 日課や活動を通じて整理整頓の習慣や時間の感覚を身に着け、適切な物の扱い方や持ち物の管理、時間管理や自分のペース把握等ができるよう支援し、次の活動へスムーズに移れる力や 将来の自立につながる力を育てます。 健康・生活 |また、おやつ等の食事の時間では、手洗いや食事マナーなどの習慣を身につけられるよう促します。 |さらに、活動前後での身支度や水分補給、体調確認を通して、自分の状態を意識し、調整・管理しながら過ごせるよう支援します。 曜日ごとのさまざまな活動を通じて全身の協調性や指先の器用さを高めるとともに、触覚をはじめとする感覚の認識や調整力の向上を支援します。 音楽活動では、リズムに合わせて体を動かしたり、ダンスをしたりすることで、全身の協調性を高められるよう支援します。 |創作活動では、手先を使う作業を取り入れ、指先の器用さを高めるとともに、さまざまな素材に触れることで感覚を刺激し、触覚の認識や調整力を養います。 運動・感覚 |パソコン活動では、タイピングを通じて手と目の協調を意識しながら、適切な力加減でキーを押す練習を行います。 |活動の中で姿勢を意識しながら作業を行い、無理のない姿勢を保つ習慣を身につけられるようサポートします。 |曜日ごとの活動を通じて、スケジュールを意識しながら過ごす力を育てます。 音楽活動では、振り付けや楽器のリズムを覚えながら、タイミングをとらえて動く力を養います。 人支 |創作活動では、目的に向かって作業を進める中で、手順を考えながら取り組む力を育みます。 認知・行動 パソコン活動では、文字の配置や操作の流れを意識しながら取り組むことで、整理して考える習慣を身につけます。 年度末の発表会に向けた準備では、長期的な目標を意識しながら継続して取り組む経験を重ね、自信につなげられるよう支援します。 スタッフや友達との会話を楽しみながら、言葉のやり取りが自然と増えるようにします。 音楽活動では、歌詞を口ずさみながら言葉のリズムを楽しみ、発声や発語の機会を増やします。 創作活動では、作品の意図や工夫についてスタッフから尋ねるなどすることで、自分の思いを言葉で伝える力を養います。 コミュニケーション パソコン活動では、文章を打ち込んで表現する経験を積み、書く力と話す力の両方を伸ばします。 |楽しくコミュニケーションをとりながら、自分の気持ちを伝えたり、相手の話を理解する力を伸ばしていきます。 活動を通じて、友達と関わる機会を大切にし、協力しながら進めたり、関わりの中で相手の存在を意識したりする経験を積んでいきます。 歌やダンスでは、みんなで息を合わせることで、周囲を意識しながら活動できるよう支援します。 人間関係 |創作活動では、友達の作品を見て刺激を受けたり、助け合いながら取り組んだりする経験を重ねます。 社会性 |パソコン活動では、順番を守ったり、わからないことを尋ねたりする中で、自然な関わりを増やしていきます。 発表会に向けた取り組みでは、仲間と協力しながら目標に向かう経験を通じて、達成感を味わえるよう支援します。 進学や転校などの変化に適応できるよう、必要に応じて関係機関と連携し 家庭と連携し、子どもの成長や生活の変化に寄り添い、安心して過ごせる環境 家族支援 づくりを支援します。面談はもちろん、送迎時やメール等も活用し、日常的に 移行支援 ながら、新しい生活リズムやルールに慣れる力を育みます。時間管理や集 も情報提供や相談対応を行い、家庭での関わりや育ちをサポートします。 団での過ごし方を意識し、安心して移行できるよう支援します。 ・定期的な社内・外研修

|季節行事(七夕、ハロウィン、クリスマス等)、長期休暇時特別イベント(お出かけ、調理、祭り等)、卒業式 等

職員の質の向上

地域支援・地域連携

主な行事等

|イベント等を通して適宜行っていきます。

	事業所名	ブロックあいが	だっく		3	支援プログラム	、(参考様式)	作成日	2025 年	3 月	18 日		
	法人(事業所)理念	笑顔・感動・え	未来を描き、新し	い文化を創出する	3								
	支援方針	「やってみたし ~子どもたち(	ハ!」を大切に。 の「苦手」を「て	多彩なプログラ <i>I</i> きる」に、「でき	な通して子ど る」を「得意	もたちの可能性を 」に〜	広げる。						
	営業時間		11 時	30 分から	17 時	<mark>40</mark> 分まで	送迎実施の有無	あり なし					
							支 援 内 容	•					
	健康・生活	日課や活動を近将来の自立にできた、おやつきさらに、活動的	通じて整理整頓の つながる力を育て 等の食事の時間で 前後での身支度や	)習慣や時間の感覚 ます。 な、手洗いや食乳 水分補給、体調研	覚を身に着け、; 事マナーなどの? 食認を通して、;	習慣を身につけら 自分の状態を意識	や持ち物の管理、時間管理 <sup>・</sup> れるよう促します。 し、調整・管理しながら過い。	や自分のペース把握等ができ ごせるよう支援します。	るよう支援し、次	の活動へスムー	ズに移れる力や		
	運動・感覚	創作活動では、 デジタル機器を さらに、専門的	動を通じて、指先や身体の使い方を意識しながら、楽しみつつ技能を高められるよう支援します。  作活動では、組み立てや素材の加工を通じて、指先の器用さや力加減の調整を学びながら、手や指の動きを促します。 *ジタル機器を活用した活動では、画面操作を通じて目と手の協調を高め、繊細なタッチやスライドなど異なる動作の習得を目指します。 -らに、専門的な視点を取り入れたレクリエーション等で感覚や運動機能へ働きかけ、負担なく体を動かせるよう支援します。  時間の活動でも無理なく続けられるよう、適宜休憩等の機会も設けます。										
本人支援	認知・行動	創作活動やデジニれらの活動で したも、専門的	多様な体験を通じて、表現力や思考力、計画性や試行錯誤する力等、自分で考え進める力を伸ばし、また、行動の切り替えをスムーズにする力を育みます。 創作活動やデジタル機器を活用し、形や配置を捉える力や細部への注意力を育み、手と目の協調を高め、表現力や思考力を養います。 これらの活動を通じてツールの扱い方や操作方法を学び、アイデアを形にする工夫や試行錯誤を重ねることで、計画的に取り組む力や創造的に問題を解決する力を高めます。 他にも、専門的な視点から認知や行動の特性に配慮したレクリエーション活動を行い、注意力や柔軟な思考、判断力の向上を支援します。 さらに、活動終了やおやつ、帰り支度などの切り替えのタイミングを意識することで、次の行動にスムーズに移れるよう促します。										
	言語コミュニケーション	創作や制作では デジタル機器を 集団での活動	スタッフや友達との会話を楽しみながら、言葉のやり取りが自然と増えるようにします。 削作や制作では、取り組んだ内容について話す場面が生まれやすく、意見を共有したり、表現する経験を積み重ねます。 デジタル機器を使用する活動では、文字入力やツールを活用しながら、言葉の表現を広げる機会をつくります。 集団での活動では、ルールや役割を理解しながら、コミュニケーションを通じて意思のやり取りができるよう支援します。 美しくコミュニケーションをとりながら、自分の気持ちを伝えたり、相手の話を理解する力を伸ばしていきます。										
個別活動と集団活動のバランスを取りながら、無理なく人との関わりを広げられるよう支援します。 創作活動では、組み立てたり、形を作ったりする中で、協力しながら取り組む場面等も生まれ、相手の意見を取り入れたり伝えたりする経験を積みます。 人間関係 また、友達の作品を見て刺激を受けたり、アイデアを共有したりすることで、表現の幅を広げられるよう支援します。 社会性 集団活動では、順番を守ることやルールの理解を深めながら、安心して関われる環境をつくります。 必要に応じてスタッフが関わり、適切な対応を学びながら、人との関係を築く力を育てます。													
	家族支援	づくりを支援し	します。面談はも	生活の変化に寄り ちろん、送迎時や 家庭での関わりや	ウメール等も活	用し、日常的に	移行支援	進学や転校などの変化にながら、新しい生活リス 団での過ごし方を意識し	でムやルールに慣れ レ、安心して移行で	いる力を育みます	す。時間管理や集		
	地域支援・地域連携	イベント等を迫	通して適宜行って	いきます。			職員の質の向上	・定期的な社内・外研( ・日々のミーティング( ・0JT研修		等を行っ	ています。		
主な行事等 季節行事(七夕、ハロウィン、クリスマス等)、長期休暇時特別イベント(お出かけ、調理、祭り等)、卒業式 等													

	事業所名	アトリエあいた	ごっく川崎		支	援プログラム	<b>ム(参考様式)</b>	作成日	<b>2025</b> 年	3 月	18 日					
	法人(事業所)理念	笑顔・感動・え	頃・感動・未来を描き、新しい文化を創出する													
	支援方針		「やってみたい!」を大切に。多彩なプログラムを通して子どもたちの可能性を広げる。 ~子どもたちの「苦手」を「できる」に、「できる」を「得意」に~													
	営業時間		11 時	30 分から	17 時	<mark>40</mark> 分まで	送迎実施の有無	あり なし								
							支 援 内 容									
	健康・生活	日課や活動を通 将来の自立にで また、おやつ等	通じて整理整頓の ⊃ながる力を育て 等の食事の時間で	ます。 iは、手洗いや食事	覚を身に着け、適 <sup>t</sup> ≣マナーなどの習t	切な物の扱い方 <sup>。</sup> 慣を身につけら	します。 や持ち物の管理、時間管理や自: れるよう促します。 し、調整・管理しながら過ごせ <sup>,</sup>		よう支援し、次の	の活動ヘスムース	に移れる力や					
	運動・感覚	様々な素材や過また、筆圧の強 さらに、異なる	<ul><li>創作活動を楽しみつつ、指先の動きや目と手の協調性を高め、力加減やさまざまな感覚を学び、姿勢や体の使い方を身につけられるよう支援します。</li><li>様々な素材や道具を扱うことで、指先の細かな動きや協調性を養う機会を作ります。</li><li>また、筆圧の強弱や道具の扱いを学ぶことで、力加減や動作のコントロールを身につけられるよう支援します。</li><li>さらに、異なる質感を楽しみながら感覚を豊かにし、触覚や圧覚の発達を促します。</li><li>座位での作業が多くなるため、長時間の活動でも疲れにくいよう姿勢をサポートするとともに、適度に体を動かす機会を設け、無理なく創作活動を続けられるよう配慮します。</li></ul>													
	本 人 支 援	創作活動を通じて、視覚的な情報を捉える力や細部への注意力の向上から表現力や思考力を養い、また、行動の切り替えをスムーズにする力を育みます。 道具の使い方を工夫したり、作品の完成までの流れを考えたりすることで、計画的に取り組む力や試行錯誤しながら作業を進める力を育みます。 また、空間認知や視空間認知を高め、見たものを理解して再現する力や、自分の考えを形にする力を養います。 作業を通じて形や配置を捉える力や細部への注意が育まれ、手と目の協調が身に付き、表現力や思考力が高まることで、自ら考え進める力も養われ、発想や表現の幅を広げます。 さらに、活動終了やおやつ、帰り支度などの切り替えのタイミングを意識することで、次の行動にスムーズに移れるよう促します。														
	言語コミュニケーション	自分の作品にて また、創作活動 簡単なやり取り	スタッフや友達との会話を楽しみながら、言葉のやり取りが自然と増えるよう支援します。 自分の作品について説明したり、作業の中で意思疎通をはかったりすることで、言葉で表現する力を育みます。 また、創作活動を通じて、自分の感じたことを、さまざまな方法で伝えたり表現したりする機会を大切にします。 簡単なやり取りや、好きなものを伝える経験を重ねながら、少しずつ表現の幅を広げていきます。 楽しくコミュニケーションをとりながら、自分の気持ちを伝えたり、相手の話を理解する力を伸ばしていきます。													
創作活動を通して、友達と関わる機会を大切にし、協力しながら進めたり、関わりの中で相手の存在を意識したりする経験を積んでいきます。 同囲の様子を感じたり、スタッフと一緒に作業をしたりすることで、人との関わりを無理なく広げていけるよう支援します。 人間関係 また、他の児童の創作の様子を見たり、刺激を受けたりしながら、自分なりの表現を広げていく機会も大切にします。 十らブルが起こった際には、一緒に考えながら解決できるようサポートし、相手の気持ちを理解しながら円滑な関係を築く力を育てます。 楽しみながら、自然と社会性を身につけられるよう支援していきます。																
	家族支援	づくりを支援し	Jます。面談はも	生活の変化に寄り ちろん、送迎時や 家庭での関わりや	ッメール等も活用し	し、日常的に	移行支援	進学や転校などの変化にながら、新しい生活リズ. 団での過ごし方を意識し.	ムやルールに慣れ	こる力を育みます	。時間管理や集					
	地域支援・地域連携	イベント等を迫	通して適宜行って	いきます。			職員の質の向上	・定期的な社内・外研修 ・日々のミーティング(PI ・OJT研修	DCAサイクル)	等を行って	ています。					

季節行事(七夕、ハロウィン、クリスマス等)、長期休暇時特別イベント(お出かけ、調理、祭り等)、あいだっくフェス川崎、卒業式 等

スタジオあいだっく川崎(放デイ)

## 支援プログラム(参考様式)

作成日

2025 年 3 月

18 日

	法人(事業所)理念	笑顔・感動・オ	来を描き	· 、新しい文	化を創出する	3								
	支援方針	「やってみたい ~子どもたちの	\!」を大 )「苦手」	切に。多彩 を「できる	がなプログラ <i>L</i> 」に、「でき	なを通して子どで きる」を「得意」	もたちの可能性を 」に〜	広げる。						
	営業時間		11 B	侍	30 分から	17 時	<b>40</b> 分まで	送迎実施の有無	あり	なし				
								支 援 内 容						
	健康・生活	日課や活動を通 将来の自立につ また、おやつ等	通じて整理 つながる力 手の食事の	整頓の習慣  を育てます  時間では、	Ĭや時間の感覚 - - 手洗いや食事	覚を身に着け、減 事マナーなどの習	習慣を身につけら	します。 や持ち物の管理、時間管理 <sup>・</sup> れるよう促します。 し、調整・管理しながら過			、次の活動ヘスムーズに移れる力や			
	運動・感覚	ボールの蹴りだけーム形式のミダンスや歌の流	ッカー活動では、ドリブルやパス、シュートなどの基本的な動作を取り入れながら、体の使い方を学びます。 ールの蹴り方や受け方を工夫しながら、力加減や方向感覚を身につけられるようサポートします。 ーム形式のミニゲームやレクリエーションを通じて、瞬発力やバランス感覚を養い、負担をかけずに体を動かせるよう支援します。 ンスや歌の活動では、リズムに合わせて体を動かし、表現の幅を広げる機会をつくります。 の動きや姿勢を意識しながら、表現を楽しみつつ取り組めるようサポートし、全身の協調性を高められるよう支援します。											
本人支援	認知・行動	サッカー活動で チームごとの挑 ダンスや歌の流	活動の流れを理解し、状況に応じた行動をとる力を育みます。 サッカー活動では、ゲームのルールを守りながら、状況に応じて判断し、動く力を養い、試合やミニゲームを通じて勝敗の受け止め方を学びます。 チームごとの振り返りの機会を設け、プレーを見直しながら自分の考えを整理し、次の行動へつなげる経験を大切にします。 ダンスや歌の活動では、リズムや振り付けを意識しながら、体の動きやタイミングを調整し、協調性や表現力を養います。 みんなで流れを確認しながら進めることで、計画的に取り組む力を伸ばします。											
	言語 コミュニケーション	サッカー活動で 試合後の振り返 ダンスや歌の流	スタッフや友達との会話を楽しみながら、言葉のやり取りが自然と増えるようにします。 サッカー活動では、仲間と声をかけ合いながらプレーし、指示や相談を通じてコミュニケーションを深めます。 試合後の振り返りでは、意見を交わしながら考えを整理し、表現する力を育むと同時に、適切な言葉遣いを意識し、相手に配慮した表現を学びます。 ダンスや歌の活動では、リズムに合わせた表現を通じて、自分の気持ちを伝えたり、仲間と息を合わせたりする経験を大切にします。 取り組む曲について意見を出し合いながら、互いの考えを尊重し、やり取りを楽しむ場面を増やします。											
	人間関係 社会性	また、仲間と協力ッカー活動で試合やミニゲー	相手の気持ちを考えながら適切な言葉を選び、距離感を意識して関わることで、円滑なコミュニケーションを築く力を育てます。 また、仲間と協力しながら活動に取り組むことで、人との関わりを広げる経験を積んでいきます。 サッカー活動では、チームでの役割を意識しながらプレーし、協力する大切さを学びます。 試合やミニゲームでは、勝敗を通じて気持ちの整理を意識し、互いの取り組みを尊重しながら関われるよう促します。 ダンスや歌の活動では、集団で息を合わせる経験を重ね、周囲と調和しながら取り組む力を養います。											
	家族支援	づくりを支援し	/ます。面	談はもちろ	ん、送迎時や		て過ごせる環境 用し、日常的に トします。	移行支援	ながら、新し	い生活リズムやルールは	よう、必要に応じて関係機関と連携し に慣れる力を育みます。時間管理や集 多行できるよう支援します。			
	地域支援・地域連携	イベント等を迫	通して適宜	行っていき	ます。			職員の質の向上	・定期的な社 ・日々のミー ・OJT研修	内・外研修 ティング(PDCAサイクル	・) 等を行っています。			
	主な行事等	季節行事(七夕	7、ハロウ	ィン、クリ	スマス等)、	長期休暇時特別	]イベント(お出れ	かけ、調理、祭り等)、あい	・ \だっくフェス川崎	、卒業式 等				

事業所名 スタジオあいだっく川崎 (児発) 支援プログラム(参考様式) 作成日 2025 年 3月 18 日 法人(事業所)理念 笑顔・感動・未来を描き、新しい文化を創出する 「やってみたい!」を大切に。多彩なプログラムを通して子どもたちの可能性を広げる。 支援方針 ~子どもたちの「苦手」を「できる」に、「できる」を「得意」に~ 営業時間 11 時 30 分から 17 時 送迎実施の有無 あり なし 40 分まで 支 援 内 容 受け入れ時にバイタルチェックを行い、健康状態を確認します。 生活リズムを整えるための基本的な習慣(手洗い、トイレ、衣服の着脱など)を支援します。 水分補給や休憩を適切に取り入れ、体調管理を促します。 健康・生活 個々の特性に応じた環境調整を行い、安心して活動できる場を提供します。 自立した生活習慣を身につけるために、遊びを通じた学びの機会を提供します。 リトミックや体操を通じて、楽しみながら基本的な運動能力を向上させます。 |体幹トレーニングやバランストレーニングを行い、姿勢保持や歩行の安定を支援します。 サーキットトレーニング等を取り入れる工夫で、全身の協調運動を促します。 運動・感覚 |ボール遊びや反応トレーニングを活用し、視覚・触覚・固有感覚(体の動きを感じ取ったり、体の位置や力加減を調整する力)の発達を促します。 |運動を通じて「できた!」という体験を重ね、体の動かし方への自信をつけることで、積極的にチャレンジする気持ちを育みます。 遊びや課題を通じて、集中力や注意力の向上を図ります。 本 指示の理解や順序立てて行動する力を育てる支援を行います。 人支 適切な行動を学ぶために、視覚支援やルールを明確に提示します。 認知・行動 感情のコントロールを学ぶために、休憩やクールダウンの時間を設けます。 |自己表現の方法を学び、安心して自分の意思を伝えられる環境を整えます。 個々の発達段階に応じた言葉の発達を支援します。 ジェスチャーや絵カードを活用し、言葉の理解や表現を促します。 |名前を呼ぶ・簡単なやりとりをするなど、日常の中でコミュニケーションの機会を増やします。 コミュニケーション 遊びや音楽を取り入れながら、楽しみながら発語や発声を促します。 相手の話を聞く・順番を守るなど、会話の基礎的なスキルを育てます。 集団遊びやペア活動を通じて、友達との関わり方を学びます。 「順番を待つ」「相手の気持ちを考える」など、社会的ルールを身につける支援を行います。 人間関係 自分の気持ちを伝える練習をしながら、適切な自己主張の方法を学びます。 社会性 成功体験を重ねることで、他者と関わることへの自信を育てます。 |楽しく安心できる環境の中で、集団の中での居心地の良さを感じられるよう支援します。 家庭と連携し、子どもの成長や生活の変化に寄り添い、安心して過ごせる環境 |就学に向け、新しい環境や生活リズムに適応できる力を育みます。座って づくりを支援します。面談はもちろん、送迎時やメール等も活用し、日常的に 話を聞く・順番を待つなど集団生活の基礎を支援し、必要に応じて関係機 家族支援 移行支援 も情報提供や相談対応を行い、家庭での関わりや育ちをサポートします。 |関と連携しながら、安心して就学準備を進められるようサポートします。 ・定期的な社内・外研修 ・日々のミーティング(PDCAサイクル) 地域支援・地域連携 イベント等を通して適宜行っていきます。 職員の質の向上 · O.J.T研修 等を行っています。

|季節行事(七夕、ハロウィン、クリスマス等)、長期休暇時特別イベント(お出かけ、祭り等) 等

	事業所名	パソコンあいた	ぎっく川山	倚				支	援プロ	]グラム	、(参考様式)	1	作成日	2025 年	3 月	18 日
	法人(事業所)理念	笑顔・感動・え	未来を描き	き、新し	い文化を	創出する	5									
	支援方針	「やってみたい 〜子どもたちの	ヽ!」を D「苦手」	大切に。   を「で	多彩なフ きる」に	プログラ <i>L</i> 、「でき	∡を通し そる」を	て子ども 「得意」	たちのF に~	可能性を加	広げる。					
	営業時間		11	時	30	分から	17	時	40	分まで	送迎実施の有無	あり	なし			
											支 援 内 容					
	健康・生活	日課や活動を選将来の自立にでまた、おやつ等さらに、活動前	々の活動や生活の流れを大切にしながら、生活リズムを整えられるように支援します。 課や活動を通じて整理整頓の習慣や時間の感覚を身に着け、適切な物の扱い方や持ち物の管理、時間管理や自分のペース把握等ができるよう支援し、次の活動へスムーズに移れる力や 来の自立につながる力を育てます。 た、おやつ等の食事の時間では、手洗いや食事マナーなどの習慣を身につけられるよう促します。 らに、活動前後での身支度や水分補給、体調確認を通して、自分の状態を意識し、調整・管理しながら過ごせるよう支援します。													
	運動・感覚	タイピングではまた、正しい指 自由時間では、 による認知機能	タイピングをメインに、興味にあわせたさまざまな活動を通して、姿勢の維持や体の使い方、目と手の協調性、感覚の発達を支援します。 タイピングでは、正しい姿勢を意識しながら作業できるよう環境を整え、長時間の活動でも負担が少なくなるよう配慮します。 また、正しい指使いやキーを打つリズム・ペースの調整等を意識することで、目と手の協調性を高め、動作のコントロールや集中力の向上を促します。 自由時間では、オリジナルグッズ作成等の創作活動等を通じて指先の動きや触覚を豊かにし、お友達やスタッフとのクイズや自作ゲーム等での交流を通して戦略的思考や視線の動かし方 こよる認知機能や空間認識力を高めます。 活動の合間には軽い運動や体を動かす機会を取り入れ、快適に過ごせるよう配慮します。													
本人支援	認知・行動	活動を通じて、視覚的な情報を捉える力や細部への注意力の向上から表現力や思考力を養い、また、行動の切り替えをスムーズにする力を育みます。 指使いや文字の配置や指使いを意識しながら指を動かすことで、計画的に取り組む力を育み、手と目の協調も促され、集中力や作業のスピードが向上にも繋がります。 ポイント制度を取り入れることで活動への意欲を高めながら見通しを持って行動する力や自己管理の力も養います。 また、オリジナルグッズ制作等の創作活動では、自分の考えを形にする力や工夫しながら取り組む力を養い、お友達とのゲーム等での交流の機会には、ルールを理解しながら判断する力 や他者と関わる力を高め、活動を通じて計画的に取り組む姿勢や意欲を持って挑戦する力を育みます。 そして、活動終了やおやつ、帰り支度などの切り替えのタイミングを意識することで、次の行動にスムーズに移れるよう促します。														
	言語 コミュニケーション	スタッフや友達との会話を楽しみながら、言葉のやり取りを通して伝える力を伸ばします。 タイピング活動では、文字を打つことで自分の考えを整理し、伝える力を磨き、コミュニケーションの選択肢を広げていきます。 適切な言葉遣いや表現を意識しながら、相手に伝わりやすい表現を学びます。 友達との交流や創作活動をする中で、ルールを説明したり、意見を共有したりする機会を大切にし、自分のアイデアを表現しながら伝達力や表現力を高めます。 楽しくコミュニケーションをとりながら、自分の気持ちを伝えたり、相手の話を理解する力を伸ばしていきます。														
友達と関わる機会を大切にし、協力しながら進めたり、関わりの中で相手の存在を意識したりする経験を積んでいきます。 相手の気持ちを考えながら適切な言葉を選び、円滑なコミュニケーションを取ることを意識します。 タイピング活動では、順番を守ったり、互いの作業に配慮したりしながら取り組むことで、協調性を養います。 自由活動の場面では、遊び等での交流を通して協力しながら関わる経験を重ね、創作活動等を通じて他者との協力や意見の調整を学ぶ機会を提供します。 トラブルが起こった際には、一緒に考えながら解決策を見つけ、相手の考えを尊重しながら円滑な関係を築く力を育みます。																
	家族支援	家庭と連携し、 づくりを支援し も情報提供や村	Jます。 ī	面談はも	ちろん、	送迎時や	ッメール	等も活用	引し、日常	常的に	移行支援	ながら、新 団での過ご	新しい生活リズ ごし方を意識し	適応できるよう、 ムやルールに慣れ 、安心して移行す	1る力を育みます	「。時間管理や集
	地域支援・地域連携	イベント等を迫	通して適宜	直行って	いきます	0					職員の質の向上	・定期的な ・日々の3 ・0JT研修	な社内・外研修 ミーティング(F :	PDCAサイクル)	等を行っ <sup>-</sup>	ています。

季節行事(七夕、ハロウィン、クリスマス等)、長期休暇時特別イベント(お出かけ、調理、祭り等)、あいだっくフェス川崎、卒業式 等

事業所名 サッカーあいだっく川崎 支援プログラム(参考様式) 作成日 2025 年 3月 18 日 法人(事業所)理念 笑顔・感動・未来を描き、新しい文化を創出する 「やってみたい!」を大切に。多彩なプログラムを通して子どもたちの可能性を広げる。 支援方針 ~子どもたちの「苦手」を「できる」に、「できる」を「得意」に~ 営業時間 11 時 30 分から 17 時 40 分まで 送迎実施の有無 あり なし 支 援 内 容 日々の活動や生活の流れを大切にしながら、生活リズムを整えられるように支援します。 日課や活動を通じて整理整頓の習慣や時間の感覚を身に着け、適切な物の扱い方や持ち物の管理、時間管理や自分のペース把握等ができるよう支援し、次の活動へスムーズに移れる力や 将来の自立につながる力を育てます。 健康・生活 |また、おやつ等の食事の時間では、手洗いや食事マナーなどの習慣を身につけられるよう促します。 |さらに、活動前後での身支度や水分補給、体調確認を通して、自分の状態を意識し、調整・管理しながら過ごせるよう支援します。 運動活動を楽しみつつ、全身の使い方やバランス感覚を高め、力の調整やさまざまな動きを学び、俊敏性や持久力を養えるよう支援します。 様々な動きやルールのある運動を行うことで、反応速度や空間認識力を育む機会を作ります。 また、蹴る力の調整や正しいフォームを学ぶことで、力加減や動作のコントロールを身につけられるよう支援します。 運動・感覚 |さらに、異なる動きを体験することで感覚を豊かにし、バランス感覚やリズム感の発達を促します。 |のびのびと体を動かせる屋外での活動をメインに、ゲーム形式やレクを取り入れ、楽しく運動スキルを高めながら身体の使い方を学び、運動への意欲や自信につなげる支援を行います。 サッカー活動を通じて、身体の動きを調整する力や試合の流れを素早く判断する力を高め、チームワークや協調性を養い、また、行動の切り替えをスムーズにする力を育みます。 ルールや状況に応じて動きを調整し、適切なタイミングでパスやシュートを選択することで、計画的にプレーする力や試行錯誤しながら対応する力を育みます。 また、空間認知や視野の広さを高め、周囲の動きを素早く把握しながらプレーする力や、仲間と連携して動く力を養います。 人支援 認知・行動 |プレーを通じてバランスやタイミングを調整する力や集中力が育まれ、身体と意識の協調が向上することで、自ら考え動く力も養われ、判断力や対応力の幅が広がります。 |さらに、活動終了やおやつ、帰り支度などの切り替えのタイミングを意識することで、次の行動にスムーズに移れるよう促します。 スタッフや友達との会話を楽しみながら、言葉のやり取りを通して伝える力を伸ばします。 |活動では、チームメンバーと声を掛け合いながらプレーし、適切な指示や相談の仕方を学びます。 試合後の振り返りでは、プレーの良かった点や課題を話し合いながら、自分の考えを整理し伝える経験を重ねます。 また、言葉遣いや表現を意識しながら、相手の意見に耳を傾け、建設的なやり取りができるよう促します。 コミュニケーション |気持ちが高ぶる場面でも、適切な言葉を選び、相手を尊重する表現を意識できるよう支援します。 |仲間とのコミュニケーションを通じて、意見を出し合いながらより良いプレーを目指す経験を重ね、適切な言葉の使い方を学ぶ機会とします。 仲間と協力しながら活動に取り組み、チームの一員としての役割を意識する力を養います。 試合では、互いの取り組みを尊重しながら関わる姿勢を育み、感情の高まりから言動が強くなりすぎないよう配慮する支援を行います。 人間関係 |試合の結果に一喜一憂するだけでなく、努力の過程を大切にし、仲間とともに成長する喜びを感じられるよう促します。 社会性 |スポーツマンシップを意識し、相手のプレーを称え合いながら、健全な競争心を育む機会をつくります。 他施設との試合では、日々の練習の成果を試す場面として、仲間とともに協力しながら挑戦する機会を大切にします。 家庭と連携し、子どもの成長や生活の変化に寄り添い、安心して過ごせる環境 進学や転校などの変化に適応できるよう、必要に応じて関係機関と連携し 家族支援 づくりを支援します。面談はもちろん、送迎時やメール等も活用し、日常的に 移行支援 ながら、新しい生活リズムやルールに慣れる力を育みます。時間管理や集 も情報提供や相談対応を行い、家庭での関わりや育ちをサポートします。 団での過ごし方を意識し、安心して移行できるよう支援します。 ・定期的な社内・外研修 ・日々のミーティング(PDCAサイクル) 地域支援・地域連携 イベント等を通して適宜行っていきます。 職員の質の向上 0JT研修 等を行っています。

|季節行事(七夕、ハロウィン、クリスマス等)、長期休暇時特別イベント(お出かけ、調理、祭り等)、試合(東京vs川崎等)、あいだっくフェス川崎、卒業式 等